【保健予防課】　２０２５年度事業実績①

○ 健康づくりの意識の向上　［目標１-２-施策（１）］

健康づくり推進に関する普及啓発

健康づくり推進員の自主的な健康活動を支援するために健康づくり機材貸出、健康づくりに関連する情報提供を実施しました。



【推進員ハンドブック】

健康づくり推進員数	156人
年間機材貸出件数（物品数×日数）	987件
情報提供	健康づくり推進員ハンドブック

【各町内会・自治会での健康づくり活動の様子】





【保健予防課】　２０２５年度事業実績 ②

○ 感染症対策　［目標１-２-施策（５）］

感染症予防に関する普及啓発

結核や、HIV・性感染症検査等について、予防や早期発見・対応ができるよう、市民や関係機関に様々な方法で情報を発信しました。

普及啓発回数	26回
一般感染症	流行している感染症の情報をホームページに掲載、関係機関の会議に出席し健康教育の実施等。
結核	町田市の結核の状況についてチラシ作成し関係機関に配布、図書館に特集コーナーを設置等。
HIV・性感染症	ステッカー掲示、デジタルサイネージ掲載、二十祭まちだにて普及啓発物品配布、市庁舎ライトアップ等。

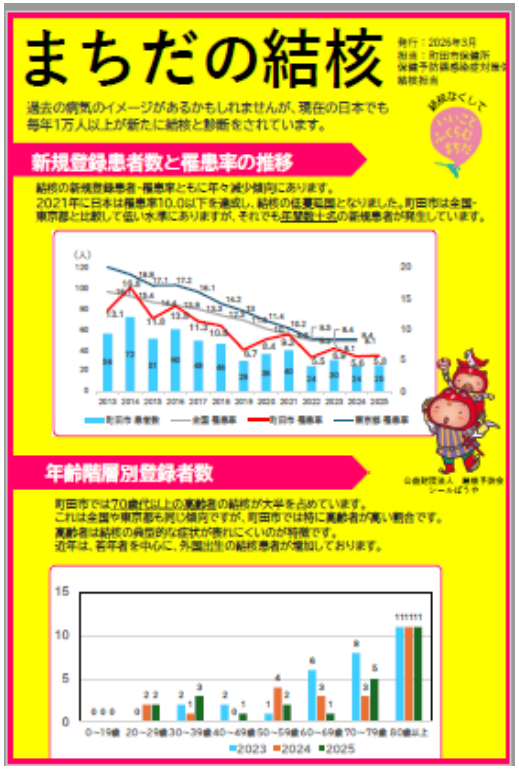


【図書館の特集コーナー】


【ステッカー掲示】



【デジタルサイネージ掲載】

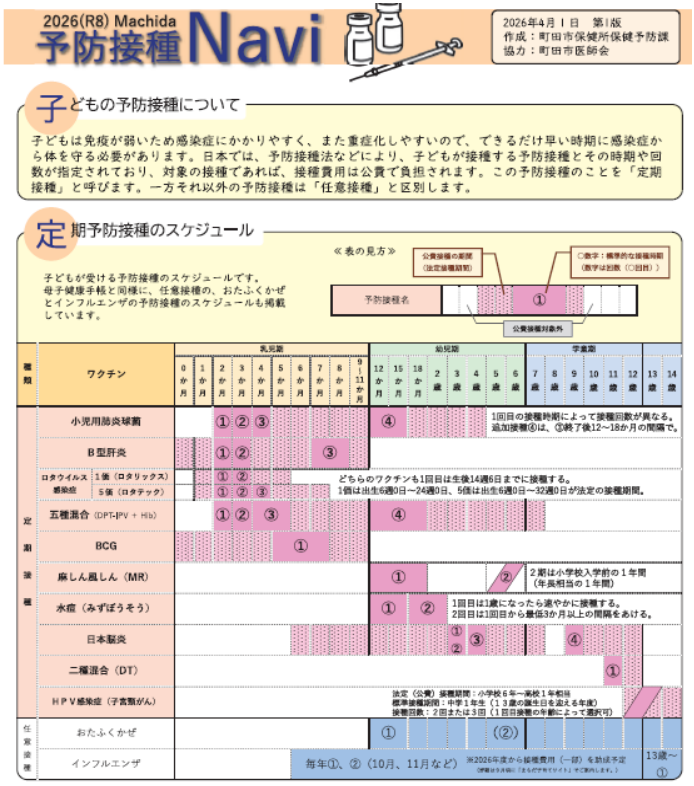


【「まちだの結核」チラシ】

○ 感染症対策　［ 目標１-２-施策（５）］

予防接種に関する情報発信

定期接種の対象者への個別通知に「予防接種Navi」（スケジュール表）を同封するほか、予防接種スケジュール管理アプリを導入し、予防接種の情報発信強化に取り組んでいます。



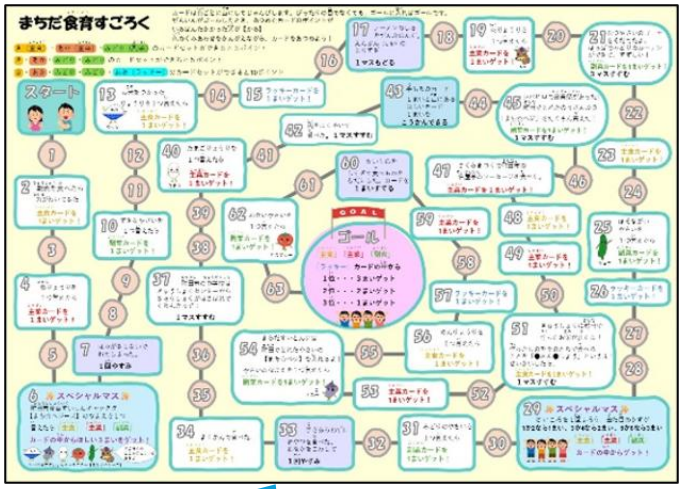


登録
（生年月日などを入力）

○ 望ましい栄養・食生活の推進　［目標１-３-施策（１）］

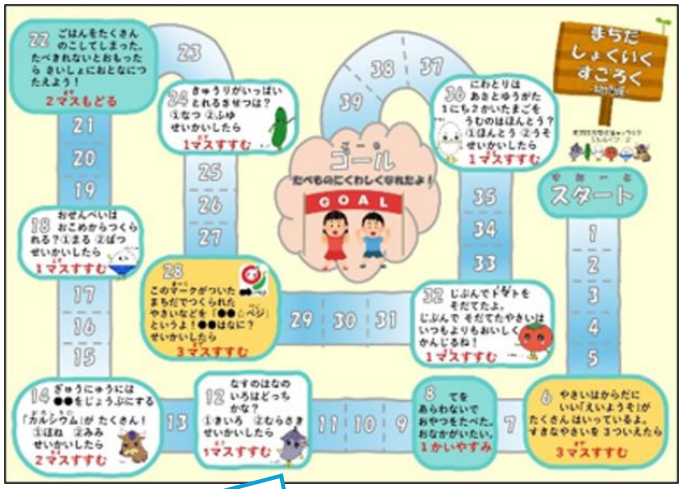
まちだ食育すごろくの普及

生涯にわたって健康的な食習慣の形成を促すことを目的に、町田市食育推進委員会等でご意見をいただき、2025年度に２種類の「すごろく」を作成しました。



【まちだ食育すごろく】
主食・主菜・副菜カードをバランスよく集めてゴールを目指します。

遊びながら栄養や町田市の食について学ぶことができます。



【まちだしょくいくすごろく（幼児版）】
食への興味を促す、簡単な食べものクイズを取り入れています。

遊びながら食について学ぶことができます。

○ 食を通じて地域とつながるための支援　［目標１-３-施策（２）］

JA町田市と連携した食体験事業

- <テーマ> 町田の食をまるっと楽しむ！
  ～まち☆ベジ収穫体験＆ＦＣ町田ゼルビア応援給食クッキング～
- 実施内容：
  - ・収穫体験
  - ・JA町田市職員講話
  - ・保健給食課職員による講話
  - ・食育ボランティアによる調理実習
- 日時：2025年12月13日（土）
  ９：30 ～ 13：００
- 場所：JA町田市忠生支店（会議室・調理室）
  JA町田市忠生所有の畑
- 対象者：小学1年生から小学5年生の子どもとその保護者
- 参加者数：10組24名（大人10名、子ども14名）





【収穫体験の様子】



【調理実習の様子】

○ 食に関する環境の整備　［目標１-３-施策（３）］

大学や民間企業と連携した取組

（１）東京家政学院大学との連携協定

若い世代への普及啓発を効果的に取り組んでいくために

2025年8月1日に食育推進に関する連携協定を締結しました。

協定後の取組内容	実績
東京家政学院大学町田キャンパス 学食での「まちだすいとん」提供	・2025年 7月22日（火）30食 ・2025年 9月22日（月）30食
東京家政学院大学町田キャンパス 学園祭でのお料理サークル学生による 「まちだすいとん」提供	・2025年11月8日（土）200食 ・2025年11月9日（日）150食
大学近隣の小学生を対象とした料理 教室でのまちだすいとんの啓発および 食育すごろくの体験	・2025年9月6日(土) まちだすいとん実習 ・2025年10月18日(土) 食育すごろく体験 各回小学3年生～6年生 11名



【学園祭ブースの様子】


【まちだすいとん実習】


【すごろくの体験】

（２）味の素（株）との連携協定

市民への普及啓発を効果的に取り組んでいくために

2026年1月26日に健康的な食生活の推進に関する連携協定を締結しました。

【保健予防課】　２０２５年度事業実績 ⑦

○ こころの健康づくりの推進　［目標１-４-施策（２）］

こころの健康づくりに関する普及啓発



【みんなの健康だより7月1日号】



【ポスター30部作成】



【8月6日 心のサポーター養成研修】



【11月20日 大塚製薬共催の講演会】

内容	対象	参加
地域精神保健福祉連絡協議会	関係機関（委員委嘱）	14名
心のサポーター養成研修	市民	48名
大塚製薬共催にも包括（※）に関する講演会	地域支援者	69名

※にも包括とは「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の略称

○ 新興感染症対策　［目標２-２-施策（１）］

感染防止対策地域連携会議への参加：８回

主催	参加機関	回数
町田市民病院	ふよう病院、町田胃腸病院、町田慶泉病院、 南町田病院、町田市医師会、町田市保健所	4回
多摩丘陵病院	こころのホスピタル町田、鶴川記念病院、町田病院、 まちだ丘の上病院、町田市医師会、町田市保健所	4回

感染対策合同訓練への参加：１回



【新興感染症についての講義】



【個人防護服着脱訓練】

○ 大規模災害時における医療提供体制の充実　［目標２-２-施策（２）］

２０２５年度　在宅人工呼吸器使用者のための災害時個別支援計画の作成分

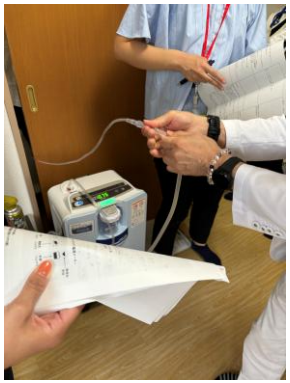
人工呼吸器使用者

把握数	25名

	作成済	作成希望なし	合計
災害時個別支援計画	24名	1名	25名

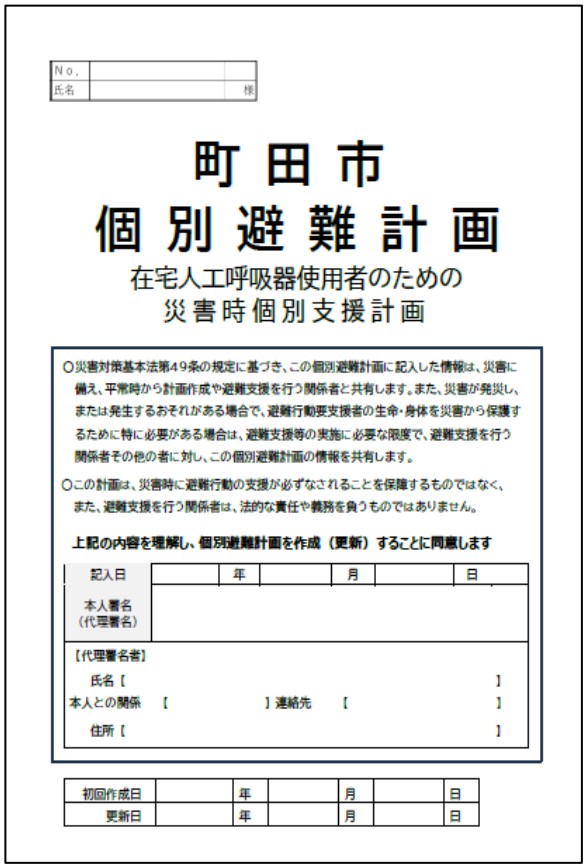
※作成済内訳（新規6名、更新18名）







【関係機関を含めた災害訓練実施の様子】



No.
氏名　様

町 田 市
個 別 避 難 計 画
在宅人工呼吸器使用者のための
災害時個別支援計画

○災害対策基本法第49条の規定に基づき、この個別避難計画に記入した情報は、災害に備え、平常時から計画作成や避難支援を行う関係者と共有します。また、災害が発災し、または発生するおそれがある場合で、避難行動要支援者の生命・身体を災害から保護するために特に必要がある場合は、避難支援等の実施に必要な限度で、避難支援を行う関係者その他の者に対し、この個別避難計画の情報を共有します。

○この計画は、災害時に避難行動の支援が必ずなされることを保障するものではなく、また、避難支援を行う関係者は、法的な責任や義務を負うものではありません。

上記の内容を理解し、個別避難計画を作成（更新）することに同意します

記入日	年	月	日
本人署名（代理署名）			

【代理署名者】
氏名【　　】
本人との関係【　　】連絡先【　　】
住所【　　】

初回作成日	年	月	日
更新日	年	月	日

【人工呼吸器使用者のための災害時個別支援計画】

【保健予防課】　事業総括：2026年度に向けての課題や目標等

【からだの健康を支えるまち】　［目標１-２-施策(1)(5)］

- 健康づくりの活動を通して市民のつながりを創出します。
- 感染症について予防や早期発見・対応ができるよう、市民や関係機関に様々な方法で情報を発信しました。若い世代に向けた効果的な普及啓発の取り組みを検討します。
- 予防接種に関する情報発信により市民の健康の保持に努め、ワクチンで防げる感染症について、感染症の予防及びまん延防止に向けた取り組みを行います。

【食で健康を支えるまち】　［目標１-３-施策(1)(2)(3)］

- 市民の多様なライフスタイルに応じて食育を推進するためには、組織や分野の垣根を超えた連携が必要です。引き続き、市民一人ひとりが望ましい食生活を実践できるよう、関係機関や団体、企業等と連携して取組を行います。

【かけがえのないいのちを大切にするまち】　［目標１-　４-施策(2)］

- こころの健康づくりに関する普及啓発を実施しました。引き続き、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組みを行います。

【新興感染症や大規模災害に対応できるまち】　［目標２-２-施策(1)(2)］

- 在宅人工呼吸器使用患者については、災害発生に備え、個別避難計画を作成しています。毎年の訓練の積み重ねにより、病状進行と療養状況の変化に応じた訓練内容へと発展させ、備えに対する意識を高める必要があります。より実効性のあるものとするための、災害訓練の実施に向けた取り組みを行います。

【保健予防課】　2026年度事業計画及び進捗状況　<1>

１．健康づくり意識の向上　［ 目標１-２-施策（１）］

- 健康づくり推進員による自主的な健康づくり活動を支援します。また、健康づくりに関連する情報を集約し、推進員へ発信します。

２．感染症対策　［ 目標１-２-施策（５）］

- 予防接種に関する情報発信の取り組みとして実施している予防接種スケジュールアプリ「わくわくワクチンプラス」について、2026年11月にアプリのリニューアルを予定しています。
- 保護者の方々に、アプリを今よりも更に身近なものとして利用いただけるよう、機能拡張による利便性の向上や情報発信の強化、アプリの周知拡大に取り組みます。
- 結核や、ＨＩＶ・性感染症等について、予防や早期発見・対応ができるよう、市民や関係機関に様々な方法で情報を発信します。

３．望ましい栄養・食生活の推進　［ 目標１-３-施策（１）］
食を通じて地域とつながるための支援　［ 目標１-３-施策（２）］
食に関する環境の整備　［ 目標１-３-施策（３）］

- 園児や小学生が主体的に食育に取り組めるよう、2025年度に作成した「まちだ食育すごろく」を活用した取組を、関係機関や団体と連携しながら行います。
- 市民一人ひとりが望ましい食生活を実践できるよう、民間企業や大学と連携した取組を行います。

４．こころの健康づくりの推進　［ 目標１-４-施策（２）］

- 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、引き続き協議を行います。
- こころの健康について身近に相談ができ、適切な対応ができるよう、引き続き相談窓口の周知、市民及び地域支援者向けの研修会や講演会など、普及啓発に取り組みます。

５．新興感染症対策　［ 目標２-２-施策（１）］

- 病院が主催する会議（感染症対策地域連携会議）に参加し、地域の医療機関や医師会と顔の見える関係を構築し、連携調整を強化します。また、最新の感染症情報を共有し、現場の感染対策能力向上を図ります。

６．大規模災害時における医療提供体制の充実　［ 目標２-２-施策（２）］

- 在宅人工呼吸器使用患者については、災害発生に備え、個別避難計画を作成・更新します。また、より実効性のあるものとするため、災害訓練の実施に向けた取り組みを行います。